12 月 5 日「京都学ラウンジ　ミニ講座特別編」（開催報告）

令和元年１２月５日
京 都 学 ・ 歴 彩 館
０７５－７２３－４８３５

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ　ミニ講座」を開催しております。12 月５日（木）は、館長特別ミニ講座として金田章裕館長による「平安京の街路の変遷」を開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日　　時　　令和元年１２月５日（木）　１３：３０～１４：３０

■ 会　　場　　京都府立京都学・歴彩館　１階小ホール

■ 参加者数　　９３名

■ 内　　容　　講師　京都府立京都学・歴彩館館長　金田　章裕
「平安京の街路の変遷」

■ 講座の様子

１２月のミニ講座は金田館長によるミニ講座特別編を小ホールで開催した。最近、平安京の街路に関する大きな発掘成果があった。東寺と並んで造られた西寺にほど近い右京九条二坊四町・九条大路の発掘がなされ、平安京の南を画する九条大路と羅城の基底部遺構が確認されたのである。加えて側溝の発掘から、九条大路が平安中期編纂の『延喜式』の規定通りに造られた後、狭くされていたことも明らかになった。

今回のミニ講座では、まずこの最新の発掘成果が、ドローンによる上空からの写真を交えて紹介された。さらに、平安時代の文献史料や中近世の絵図、近代の地籍図など多様な史料を駆使した分析により、漠然と「右京の衰退」とみられがちな、平安京から中世京都への変容が明瞭に論じられた。

多くの参加者を得て、大盛況のうちに館長特別ミニ講座を終えることができた。